

耐震補強により年間21万人の利用者の安全を確保

— 県民文化センター— 展示棟耐震補強工事 —

外観イメージを壊さない工法を採用

窓のフレームに見立てた格子状の鉄骨補強



●耐震補強工事により、年間21万人 (H19実績) の利用者の安全を確保しました。

利用者の方々に補強後も違和感なく利用していただくため、外観や機能性を維持できる補強方法を採用しました。

●補強する鉄骨部分を格子状にし、窓のフレームに見立てることで外観のデザインに配慮した補強方法を採用しました。

●通行などの機能性を維持するため、補強材の形状など利用者に配慮した補強方法を採用しました。

・耐震性能指標 (Is値)

0.25 (最も低かった部分) → 0.75

耐震性能指標 (Is値) が0.6を下回ると耐震補強が必要になります。

・工期 4ヶ月

・改修工事費 約8千万円

通行可能な補強方法を採用



県民文化センター— 展示棟

水戸市千波町

昭和41年完成

鉄筋コンクリート造

地下1階、地上2階建て

延べ面積 4,176.9㎡

補強前

補強前

補強後